

Title	演劇学論叢 第14号 表紙
Author(s)	
Citation	演劇学論叢. 2015, 14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97426
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

2015.3
第14号

演劇学論叢

ドイツ及び現代演劇研究の諸相
—市川明教授退職記念小特集

- 略歴・業績…………… (2)
- 変身のオビウム……………市川 明 (20)
—プレヒトと日本の演劇における笑いの三つの源泉—
- 木下順二からのメッセージ……………秋葉 裕一 (42)
- 「伝統」の舞踊化……………永田 靖 (59)
—林文中舞踊団『小南管』シリーズをめぐって
- 第一次大戦期ベルリン・ドイツ劇場の
レパトリーにみる民衆劇……………大林のり子 (79)
—ライムント喜劇『ラッペルコップ』演出—
- 二つの『七つの大罪』……………古後奈緒子 (100)
—バランシンとパウシュが二人のアンナに見たもの—

■論 文

- 「センチメンタリズム」から「朗らか」へ……………松本 俊樹 (118)
—堀正旗の『アルト・ハイデルベルク』受容と宝塚—
- 劇構造の効果と王の二つの身体……………黄 資黎 (140)
—野田秀樹『廣作・桜の森の満開の下』『TABOO』論

■目録

- 演劇学研究室蔵『森本薫関係資料』……………中尾 薫 (165)
- 観劇実習レポート…………… (184)
- 研究室の窓…………… (190)

演劇学論叢

大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室